

# インターバル・撮影の準備

2014-1-13

京都市 福原浩一

新年明けましておめでとうございます。今年も星の活動に精進しますので、どうぞよろしくお願いします。  
年頭ですので、今年の抱負を一言。

今年は星なかまの作品展示会があり、これがわたしにとって最大のイベントです。まだ星の写真始めて3年目で、前回は出せる作品が無くお手伝いのみでした。次回はと思い、観望会や夏登山の際に星野写真を撮って来ました。今年もできるだけ夜間作業(星の観望)に時間を割いて、展示に耐えられる・自分らしい作品を頑張って撮影したいと思います。

そんな想いはうらはらに、年末・年始の休みでは星観望の時間が取れず、昨年11月に製作した“赤外線LEDインターバル・タイマー”を使って撮影した映像を紹介したいと考えていましたが、間に合わなかったため、インターバル・撮影(動画)への準備として、NEX-5Nでの長時間撮影に向けた、電源の手配を紹介します。

インターバル撮影では、撮りたい景色が入るようにカメラを三脚に固定し、数十秒間隔で写真撮影し、それを動画編集アプリケーションを使って動画映像に合成します。夜空の場合、明け方まで撮影をしたいのですが、いま使っているカメラでは、1つのバッテリーで最大300枚程度となっており、仮に1時間120枚とした場合、3時間の撮影には耐えられません。そこで継続的に撮影できるように、外部電源を検討しました。

## ■方法

何か良い方法がないか、いつもながらインターネットを検索してみたところ、2つの方法が見つかりました。

### ① 縦撮影用グリップ

撮影用のグリップで、2つ電池を装備できるタイプ。これで600枚程度の写真撮影が可能になる。値段は1万円ほど。電池を新たに購入するので合計で1.5万円ほど必要。

### ② カップリング端子+DC-DCインバーター(目的の電圧を他の電圧の直流から変換する装置)

NEX用に100VからDCを供給するカップリング端子を、7.5VのDC電源につなげ、自動車用のバッテリーなどを使って長時間の撮影を可能にする。

こちらは中国製の格安商品があり、全体で0.3万円ほど必要。

今回はずっと撮影できる②のやり方を選択しました。

## ■全体構成

右の写真で説明すると、写真1が今回作成したDCアダプターの部品構成です。上側がACアダプターに付属していたDCコネクタ。下側が別途購入したDC12Vを他のDC電圧に変換できるシガライター用のDC-DCインバーターです。カップリングとインバーターはプラグで接続します。インバーターは設定を7.5V(NEX用のDC電圧)に設定してDC12Vから変換して7.5Vを供給します。

電源には車用のバッテリーもしくはモバイルバッテリーを使う予定です。こちらは次回にご紹介します。

(本稿以上)

写真1:装置組み合わせ



写真2:装着イメージ

